



医療法人 住友別子病院

〒792-8543 愛媛県新居浜市王子町3番1号
 [TEL] 0897-37-7111 [FAX] 0897-37-7121
<https://sbh.gr.jp/index.php>

応募連絡先

担当部署：臨床研修センター 担当者：三崎 博
 ✉ hirosi_misaki@ni.sbh.gr.jp

上級医とも良好なコミュニケーション

当院は、1883年5月に住友家が経営する別子銅山の従業者を診療する施設として愛媛県で初めて設立を許可された病院で、2009年には企業立病院から医療法人へ移行した。また、地域の中核病院として地域貢献を果たすべく2016年10月には新病院を開設し、救急機能の強化および地域がん診療連携拠点病院として医療機能の向上を図っている。研修面においては、「研修医のスキルアップを最優先に」をスローガンに、見学でなく多くの症例を実践することで基本的な知識・技術を修得できる体制を整えており、熱意のある指導医が教育を担当している。

● 病院データ

病床数 360床	医師数(研修医含む) 64人	初期研修医数 7人	指導医数 12人	外来患者数(1日平均) 834人
入院患者数(1日平均) 299人	救急外来患者数(年間件数) 5,457人	救急車搬送患者数(年間件数) 2,764人	年間手術数 5,805件	病床稼働率 83%

【開設年】平成21年4月1日

【開設者】理事長 鈴木誠祐

【院長】鈴木 誠祐

【診療科】内科/呼吸器内科/消化器内科/腎臓内科/循環器内科/糖尿病内科
 内科(人工透析)/腫瘍内科/精神科/神経内科/小児科/外科/消化器外科
 乳腺・内分泌外科/腫瘍外科/整形外科/形成外科/脳神経外科/皮膚科
 泌尿器科/泌尿器科(人工透析)/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線診断科
 腫瘍放射線科/麻酔科/リハビリテーション科/歯科口腔外科/病理診断科
 緩和ケア科



研修風景(手術室)



JR新居浜駅よりバスで約15分
 またはタクシーで約10分



メッセージ

○ 院長(理事長)

初期の研修において、すべての研修医が全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリ・ケアを中心に医師として必要な基本的診療能力を身に付け、人格を涵養することを研修プログラムの目的としています。また、基本的診療能力に加えて、高度先進医療を担う専門医を育成することも社会的に要請されていますが、当院ではその医療施設・環境は十分に整っています。前向きでやる気のある研修医は大歓迎です。

院長(理事長) 鈴木 誠祐(岡山大学卒)

○ 指導医・プログラム責任者

当院は、救急機能の強化と地域がん診療拠点病院としての診療機能の向上に取り組んでいます。そのために必要なインフラを充実すべく、平成28年に新病院を開設しフラッグシップの医療機器を整備しました。研修医教育に関しても、従来のプライマリ・ケア技能の修練に併せて、正確なトリアージ能力を習得できるように画像診断教育に力を入れており、その環境は整ったと考えています。

臨床研修センター長 加藤 勲(関西医科大学卒)

● プログラムの目的・特徴

目的

研修のポリシーとしては、診断における正確なトリアージ能力の取得と豊富なプライマリーケア技能の修練に重点をおいています。特に、トリアージに欠かせない画像診断教育に力を入れているのが特徴とされています。また、前期研修から後期研修から始まる新専門医制度を意識した自由度の高いプログラム設定が可能です。

特徴

要望に沿った柔軟なカリキュラムの設定

①自分の興味のある分野の知識や技術を重点的に習得するため長期間の選択科を選択することができます。

②確実な臨床手技の習得

症例数に対して研修医の数が少なく、選択科の研修期間を長くできるため、希望する手技(挿管・手術・内視鏡・IVR等)を豊富に経験することが可能です。

③画像診断の特別研修(希望時)

画像診断装置が充実しており、指導を担当する放射線診断専門医が4名常勤しています。また、院内カンファレンス(外科術前カンファレンス・肝臓カンファレンスなど)も多いことから、希望に沿った画像診断の修練が可能です。

④研究発表(希望時)

論理的な思考過程を訓練する上で研究発表は有用であるとの見地から、希望があれば研究発表に対する指導・支援する体制を整えています。

● 研修スケジュール

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	救急(当院)			内科(当院24週)			外科(当院4週)			小児科(外部4週)	産婦人科(外部4週)	精神科(外部4週) ^{※1}
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療(外部4週) ^{※2}	選択科(当院または外部医療機関48週) ^{※3}										

必修分野

内科	21週以上	地域医療	4週以上
救急	12週以上	精神科	4週以上
小児科	4週以上		
小児科	4週以上		
産婦人科	4週以上		

その他の分野及び選択研修など

- ※1 精神科は「十全ユリノキ病院」「財団新居浜病院」の2施設から選択し、4週間履修する。
- ※2 地域医療は「岩崎病院」「阿部内科クリニック」の2施設から選択し、4週間履修する。
- ※3 選択研修では上記の診療科に加え、「愛媛大学医学部附属病院」「西条保健所」「王子苑」から選択し研修する。

● 募集要項

【予定人数】4名

【応募締切】定員に達するまで

【選考試験】令和5年8月

【応募書類】①履歴書 ②卒業見込み証明書 ③成績証明書

【研修手当】1年次：約680万円/年 2年次：約790万円/年

※賞与・手当別

時間外手当：あり

宿日直手当：あり

運動手当：あり

住宅手当：あり 家賃の半額(上限34,000円)

家族手当：あり

【学 会 等】旅費支給あり

【宿 舎】あり

【院内保育所】あり

【休 暇】土曜・日曜・祝祭日 夏季休暇あり

有給休暇11日(採用6ヶ月経過後)

【保 険】健康保険、厚生年金 雇用保険 労災保険

医師賠償保険(個人加入：任意)など

【その他】

○ 研修医

当院を選んだ理由は主体性を尊重する病院であると感じたからです。動脈穿刺、CVC、基本的な外科手技など多くの手技を経験でき、指導医の先生方に確かなフィードバックをしていただくことにより、反復することの重要性を学ぶ機会にも恵まれています。また、各科の垣根が低いことにより、一つの考え方にとらわれず非常に多面的な思考過程を養うこともできます。当直では研修医がファーストタッチを行うことで、診断能力を鍛え上げ、primary careを日々修練することができます。自分の思考過程や実際にいった初期対応を上級医の先生方に意見していただくことで反省点などを振り返り、次の診療に活かしています。



研修風景(内視鏡室)